

# 除染

美しい飯館村を取り戻すために

## 須萱地区除染工事のようすをお知らせします



▲堆積物を集め、フレコンバッグに詰めます

本村が国の委託を受けて除染作業を行う須萱地区では、12月3日から森林や草地、法面の除草や堆積物の除去が行われています。

冬期間については積雪等のため、除染の効果が得られにくいことがあります。そこで、効果的な除染を行うため、積雪がある12月下旬から作業は休止され、3月下旬ごろから除染作業が再開される予定です。

### 村に測定申込みがあった食品中の放射性物質の測定結果をお知らせします

平成24年11月1日～11月30日測定分のうち、主な結果です。

#### 1. 飲料水 放射性セシウムの基準値：飲料水 10Bq/Kg

測定品目	測定件数	セシウム検出件数
井戸水	13	0
沢水・引き水	5	0

※測定時間 120分/品、検出下限値 9.25～7.58Bq/Kg

#### 2. 一般食品 放射性セシウムの基準値：一般食品 100Bq/Kg、乳幼児用食品 50Bq/Kg

測定品目	測定件数	セシウム検出件数	基準値超過件数	備考
ハクサイ	4	0	0	村外産
ダイコン	2	0	0	村外産
カボチャ	1	0	0	村外産
キノコ類	4	4	3	検出最大値 44,800 Bq/Kg (村内産イノハナ)
柿	3	3	3	検出最大値 232 Bq/Kg (村内産)
イノシシ(肉)	2	2	2	検出最大値 18,883 Bq/Kg (村内産)

※このほかの測定品目や詳細な測定結果については村ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。 <http://www.vill.iitate.fukushima.jp/saigai/?p=6450>

○お問い合わせ 復興対策課除染係 ☎024-562-4236



11/28  
線科の中川恵一先生を迎えました。参加者はまず5人程度の班に分かれ、今不安に思っていることを話し合い、続いて班ごとに出された話題を全体で共有しながら、先生が科学的データや専門知識に基づく説明とアドバイスを行いました。参加者からは「なるほどとよく理解できた」「安心できる内容だった」などの声がかれました。



## リスコミ

リスコミ(リスクコミュニケーション)とは、健康などへの影響についての情報を共有し専門家と意見交換していくこと



▲ひざをつめて話した班の話し合い

### 松川第一応急仮設住宅

放射線リスクコミュニケーションを各所で行っています

### 旧松川小 応急仮設住宅

日頃感じる疑問を話し合います▼



この他左記でもリスクコミュニケーションを行いました。  
18日：旧明治小応急仮設住宅  
21日：旧飯野小応急仮設住宅  
25日：NTT大森住宅



12/11

東京医療保健大学の伴信彦先生が談話室を訪れ、放射線の種類や性質、専門家の発言の根拠などについて、スクリーンを使って分かりやすく説明しました。10人余りの参加者も、日頃の疑問を時折先生に投げかけて、理解を深めようと説明を聞いていました。伴先生は、一つひとつの質問に、理由を示しながら丁寧に答えていました。

## 子育てサロン 12/11

### 放射線リスクコミュニケーション



高野香純さん(飯櫃町)と灯里ちゃん(1歳) 疑問に思っていたことを聞くことができました。



佐藤真理子さん(大久保・外内)と実桜ちゃん(2歳) 先生に聞いてよかったです。機会があればまた参加したいです。

毎週火曜日に開かれている子育てサロンでも、前出の伴信彦先生(下写真)を招いて放射線リスクコミュニケーションを行いました。



参加者は先生を囲んで丸く座り、子どもたちを遊ばせながら、先生に直接質問をしました